

第114回委員長会議 議事録

平成31年2月10日(日)～11日(祝月)

東京都渋谷区 国立オリンピック青少年記念総合センター

○司会進行 塚崎 邦嗣

○部長挨拶 藤田 光司

入試等の忙しい中、ご苦労様です。節目の年、平成最後の年、専門部創部70周年という高体連の節目の年、専門委員長会、重要な議題ございますが慎重審議をお願いいたします。また、新しい時代に向けてますますの発展を祈念します。

○出席者

委員長出席 44名 代理出席 1名 委任状 1名 欠席 1名
定数2/3をこえており開催成立

○議事録署名

青森県専門委員長 成田 壘 宮崎県専門委員長 大庭 伸也

○規約により部長が次第に従い司会進行

1. 審議事項

(1) 2019年度全国高校総合体育大会について

○日程

| | |
|----------|-----------|
| 7月27日 | 設営準備 |
| 28日 | トラック公式練習 |
| 29日 | 開会式受付監督会議 |
| 30日～8月1日 | トラック(北中城) |
| 2日 | ロード(名護) |

○大会連絡

- ・南部九州総体のHPではなく全国高体連専門部HPで情報を発表していく。
- ・メールによる一斉送信等を活用していく。

○トラック会場

- ・ 走路補修のみおこなっている。
- ・ 競技場における応援横断幕禁止
(観客席として犬走を使うため視界の確保、通風スペースの確保)
- ・ 選手村については横断幕認めるが通風スペース確保をお願いしたい。
- ・ 全面禁煙 (健康増進法が改正されるので先行実施)
- ・ コンプレッサーを2台用意する。10口規模 (シマノやメカサービスとは別)
- ・ 選手村、フロアを参加校で養生 (ブルーシート等) をお願いします。
- ・ フロアの損傷、汚れが発生すれば修繕費を請求する場合がある。
- ・ ロードコース試走、宿からの移動等スマートな走行をお願いいたします。

○配宿

- ・ 飛行機等の手配なし、配宿のみ
- ・ 航空券込み (7月27日 in 8月3日 out) 預け自転車1台保障のパックツアー

以上、2種類。宿泊のみでも7月27日から8月3日はJTB あっせん期間なのでこの期間は必ずJTB (配宿センター) を通す手配とすること。

- ・ 広域の配宿になる。トラックでも名護市等。
- ・ 8月2日の宿泊是那覇の手配も可能 (この場合も配宿を通す)

○レンタカー

レンタカー斡旋なし、紹介程度を南部九州総体 HP にバナーを出す。積極的に各校で手配ください。

○機材配送

配送斡旋ない。シクロエクスプレス等を利用して余裕をもって各校で手配をお願いします。

○駐車場

美ら島総体より駐車場は近くできる予定。

○注意

- ・ 那覇空港の駐車スペースかなりの混雑、狭い。
- ・ レンタカー返却に1時間程度かかる。考慮願いたい。
- ・ 自転車の部品は沖縄で手に入りにくい。

○ロード

- ・ニュートラル シマノの11段のみ
- ・ニュートラルはディスク不対応
- ・名護市、東村を利用したコース。
- ・男子94.3km 女子51.5km
- ・男女ともチーム補給あり。1箇所(男女25.2km、男子2周目68.0km)
- ・遅れ5分でOUT
- ・男子スタート5分後に女子スタート

○制限タイム(電子計時)(手計時0.300秒加算)

| | |
|-----|---------------|
| TT | 1分10秒450 |
| IP | 3分40秒960 |
| TP | 4分40秒940 |
| TSP | 250m 51秒100 |
| | 333m 1分08秒190 |
| | 400m 1分22秒190 |
| | 500m 1分43秒270 |

○ケイリンの離脱位置について

大会特別規則(従前の離脱位置600mや666m等)とし、離脱後の高い速度を維持したままでスプリントに挑めるようにしたい。

以上、(1)承認

(2)平成30年度事業報告(案)について

東海ブロック大会日程変更報告。残る事業は選抜大会。

東海ブロックトラック：6月21日～22日

ロード：6月23日

以上、(2)承認

(3)平成30年度収支中間決算(案)について(事務局)

70周年事業があり、例年であればほぼ会計を締められているが今年度は閉めることができない。12月末時点での会計報告であることをご了承ください。

以上、(3)承認

(4) 2019年度事業計画(案)について

- ・前年度を踏襲した事業計画
- ・各ブロック大会、合宿日程確認
- ・日韓高校生対抗戦 11月下旬または12月上旬 韓国釜山

以上、(4) 承認

(5) 2019年度徴収金について

- ・2020 総体へ向けたプールが認められている。
- ・総体実施に関係する内容（番組編成会議、視察等）の費用とする。
- ・それ以外は JKA 補助事業として総体を実施していく自己資金確保（精算払いのため）のために積み増しし、開催都道府県の負担を軽減していく。
- ・確保後は、総体番組編成会議、視察等の費用と同様に総体助成金とする。
- ・徴収金値上げ分（登録選手人数分根拠徴収金）は別枠で予算建てに明記して運用していく。
- ・領収書の発行の仕方、委員長取りまとめ資料を徴収金の値上げに合わせて変更する。

以上、(5) 承認

(6) 2019年度収支予算(案)について

- ・来年度より JKA 公益補助事業をこれまでの JCF 事業としてではなく、（公財）全国高等学校体育連盟として申請。それが通った前提での予算
- ・これまで JCF が申請する事業として JCF、学連、高体連で折半してきた
- ・今回、自立することによりこれまで以上に申請ができる。そこで、選抜、全国ブロック合宿を公益補助事業としてきたが総体追加した。
- ・そのことにより、予算規模が前年度より大幅に大きくなっている。
- ・徴収金について (5) で承認を得た徴収金の記載の仕方とする。

以上、(6) 承認

(7) 各専門部会より

「総務部会」

○総体の参加枠

- ・登録校数に基づいたブロックへの比例配分

○総体学校対抗ロード総合得点の改正

- ・1位 20点 2位 18点 …… 16位 2点 17位以降完走者 1点
- ・あくまでも、学校対抗ロード総合のみ。
- ・トラック・ロード含めた学校対抗総合は従来どおり

○総体女子選考方法

- ・前年度同様である

以上、(7) 総務部会、承認

「競技運営部会」

○総体制限タイムに関する出場枠について

- ・(1) での提案通り

●意見・質問

- ・高体連ではディスクブレーキ使用可能か。
→ 使用可能
ただし、ニュートラルサービスの準備ができない。ニュートラルに代輪を預けることは可能だが、必ずしも預けたものが預けた選手に届くとは限らない。
- ・機材規制検討についての状況
→ こののち機材規制検討委員会より。
- ・ブロック割当人数の総枠が埋まらない、かつ標準タイムを切っても種目割当上限にかかり出場できない場合がある。改善できないか。
→ 改善、検討していく
- ・選抜のタイム制限、ケイリン出場枠制限により選考が難しい。第二希まで希望を取り、番組編成会議で出場種目変更をしてもらえないか。
→ ご協力いただき現在の選考方法をお願いしたい。意見として承る。
- ・1人1種目について、1人2種目など検討していただきたい
→ 検討していく。

○(1) 総体説明であったケイリンの特別規則について

- ・公式に文章を発行する。

以上、(7) 競技運営部会、承認

「強化育成部会」「広報部会」

審議事項なし

(8) 役員改選について

○理事長選

- ・立候補ゼロ
- ・関東・九州ブロックより中梶秀則先生（福井・科学技術）を推薦。

以上により、2019-2020年度理事長は中梶秀則先生が承認される

(9) その他（機材規制検討委員会）

- ・7年前から監督アンケートをとったなかで機材規制が必要であるという意見が多くあった。
- ・本年度、5月に全顧問からアンケート38%規制すべき
- ・機材費がかかる。入部断念する生徒もいる。
- ・逆に、規制をすれば機材を2つそろえなければいけなくあるのではないか（高体連以外の試合にでる機材）

●意見・質問

- ・検討委員のメンバーに規制賛成者はいるのか、反対ありきではないか。
 - 反対、賛成を確認せずブロック長、理事長、3役、事務局で構成
また、その中には規制必要と答えたメンバーもいる
- ・ロードの規制は
 - 現実的に難しい。

○継続検討

- 1 トラックレースのみNJSスポーク車輪導入
- 2 ケイリンとは別種目で競輪（丸フレ、ワッパ）を導入

上記の機材規制を行うか各都道府県で検討していただき継続審議する。

以上、(9) 承認

2. 報告事項

(1) 平成30年度全国高校総体（静岡）の報告

女子種目最初の採用。平成最後。落車トラック3件、ロード9件、救急搬送なし。

(2) 平成30年度全国選抜大会について

- ・平成26、27年度 北九州、熊本（山鹿）。
- ・平成28，29，30年度 熊本予定であった。
- ・地震のため平成29年度は山鹿と久留米で開催
- ・平成30年度については熊本返上。
- ・北九州で受けていただいた。ロードに関しては熊本で受けていた関係もあり五木村へお願いした。
- ・サッカーのイベントがあり、五木村近郊の配宿が困難となった。申し訳ございません。
- ・ロードコース3kmで80m標高差がある。厳しいコース。
- ・ロードコース下見時刻を指定している（交通規制をかける。）一方通行があるのでそれ以外では下見をしないようにしていただきたい。（車両の逆走になるため）
- ・九州チャレンジ等利用して事前のスクーリングを。

○31－33年度選抜

- ・北九と熊本のロード継続をすすめながらも、並行で公募する。

(3) 2020年度全国高校総体について

- ・石川決定（内灘町、志賀町）
- ・まだ3競技は開催地未決定
- ・開会式ではなく、監督会議の中で開始式（国体のような）方式にして予算圧縮
- ・8月20日開始式
- ・21から24日（トラック、ロード）
- ・閉会24日
- ・ロード宿泊はロイヤルホテル能登（スタートゴール地点）

(4) 平成30年度日韓高校対抗自転車競技大会について

- ・11月3日～4日開催。本来は5か国対抗を予定していたが日韓対抗になった。
- ・今後も継続していく。

(5) 2019年度以降の日韓高校対抗自転車競技大会について

- ・2019年度韓国（釜山）
- ・韓国より日中韓で実施してはいかがという提案あり。
- ・中国は高体連のような組織がない。中国は厳しいかもしれない。
- ・第二案は香港。日韓香港となっていく見込み。

(6) JKA公益補助事業について

- ・（公財）全国高等学校体育連盟が直接補助を受ける方向
- ・およそ4100万円。（総体、選抜、全国ブロック合宿）
- ・来年度は1/5自己負担、4/5補助金になる
- ・これまで一年以上かかったが2週間から1か月で補助金が入る。

(7) 全国高体連・JCF関係について

「全国高体連関係」

- ・2020年度より総体参加費4500円に値上げ。
- ・体罰ないように。（数値としては29年度より30年度増えている）
- ・自転車競技は過去5年ゼロ
- ・パワハラ、セクハラも同様にないように。
- ・働き方改革、部活動の活動時間規制について検討している。
- ・原則休日に1日休み、平日に1日休み

「JCF関係」

- ・JOC8月17日～18日 松本予定（U17とU15のみ）
 - ・ジュニアは9月の全日本トラック選手権で行う。
 - ・アジア自転車競技選手権大会が10月にある（韓国）
- （同一年2回。オリンピックが関係）

(8) 各専門部会より

「総務部会」

- ・総体等で決勝競技を実施できなかった場合は競技を実施せず。決勝進出についてはスタートリストにより証明する。
- ・大会申し込みについての入力を再度確認願いたい。
- ・大会日程（熱中症対策で時間を多くとる必要性）や参加人数、種目数について変更を検討している。開催費の負担を求められており開催費を圧縮する必要性。競技レベル向上にもつながる。

「競技運営部会」

○選抜

- ・ 審判長 岡本先生（和歌山）
- ・ 競技規則短縮番号を独自に運用する。

「強化育成部会」

- ・ 女子合宿、ブロックから推薦をつのっていく。1・2年対象
- ・ 女子合宿。女子向けのトレーナー講習等を行った。
- ・ 日韓事前合宿により戦術的な面の強化がおこなえた。
- ・ 合宿荷物の運搬について（シクロエクスプレス等の利用をおねがいしたい）
- ・ 送り返すのがかなり難しい状況。

(9) 賛助会員の状況について

- ・ 企業大口1件（15口）
- ・ 個人26口
- ・ 都道府県専門部46口

都道府県専門部の残り1県にはご協力いただけるよう依頼する。

(10) その他（専門部表彰）

表彰者の確認

以上

以上の通り相違ない。
議事録署名人

成田 暎

大庭 伸也